



スクールレポート

SCHOOL REPORT 23

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、赤羽根中学校2年生の保健体育の授業と、福江小学校の「魅力ある学校づくり事業」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

赤羽根中学校

2年保健体育「消防署員に学ぶ心肺蘇生法」

赤羽根中学校では毎年、2年生の保健体育「意識がないときの手当」の授業で、心肺蘇生法を学んでいます。教科書には詳しい解説が記載されていますが、実践してみないとなかなか上手にはできないため、消防署員を講師に招き心配蘇生法を体験しました。

5・6名の小グループに1名の署員がついて、細かな説明を受けながら、1人ずつ心肺蘇生法の訓練人形を使い実習をしました。傷病者の口を通して息を吹き込むマウス・ツー・マウス法や心臓が停止していると判断したときに行う心臓マッサージの仕方、AEDの使用方法などを学びました。子どもたちは、思うように息を吹き込めなかったり、心臓を圧迫する力の加減がつかめなかったり、難しさを実感していました。

実習後には、「生命を救うための手当の大切さが実際にやってみてよくわかりました」などの感想が聞かれ、子どもたちの自信につながったようです。



●見本を見せる消防署員



●いざというときに備え真剣に取り組む姿



▼太陽光発電パネル

▲蓄電池とポンプ

福江小学校「魅力ある学校づくり事業」 太陽の力で水車を動かそう！

福江小学校では、自然のエネルギーを感じてもらうために、「魅力ある学校づくり事業」で太陽の光を使って発電する装置を作りました。

今年の2月、校舎の外壁に設置した太陽光発電用パネルで発電された電気を使い、中庭の水車が動き出しました。この水車は、発電された電気ですぐに池の水を汲み上げ動かしており、コイが泳ぐ池「フィッシュランド」の水を浄化する働きも兼ねています。「水車が動いているよ」「すごい！いつも回っているよ」などと、子どもたちの声が聞こえ、クリーンなエネルギーを身近に感じる環境になりました。

子どもたちが、中庭の水車や学校から見える風車の回る姿を見ながら、環境にやさしいエネルギーや自然の力など、多くのことを学んでくれることを楽しみにしています。そして、自然を大切に、自然に感謝する気持ちを育てていきたいと考えています。



●回る水車に感動する子どもたち